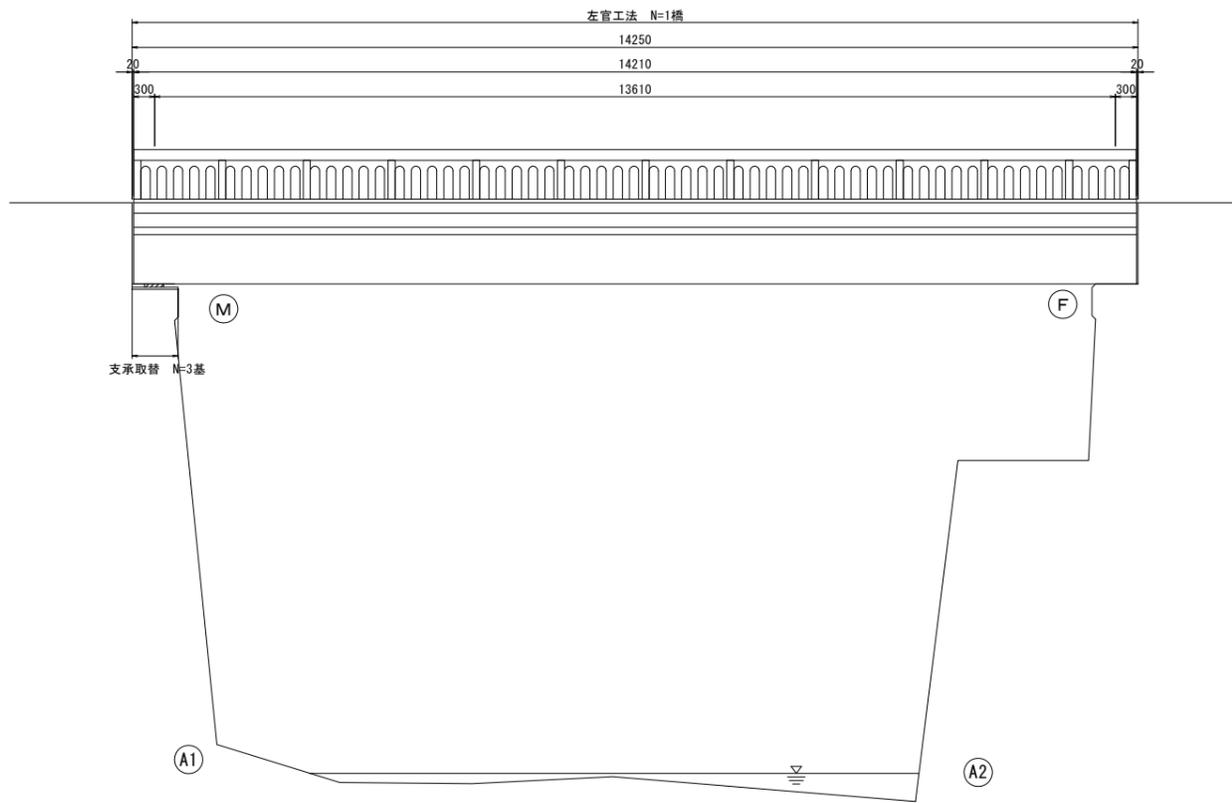


立岩橋 橋梁補修一般図

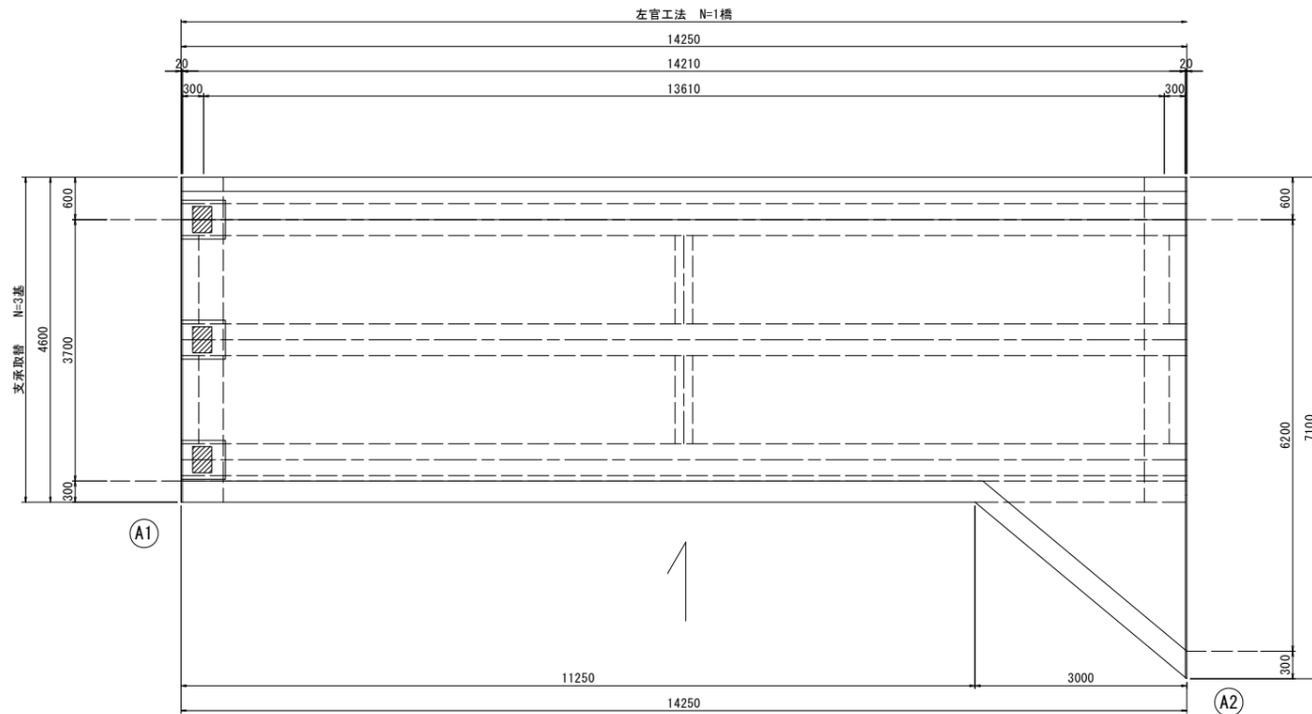
側面図

S=1:50



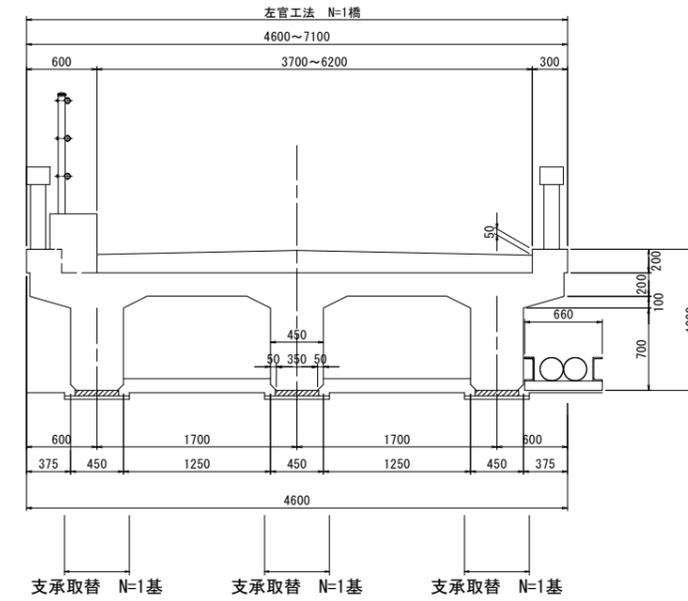
平面図

S=1:50



断面図

S=1:30



設計条件

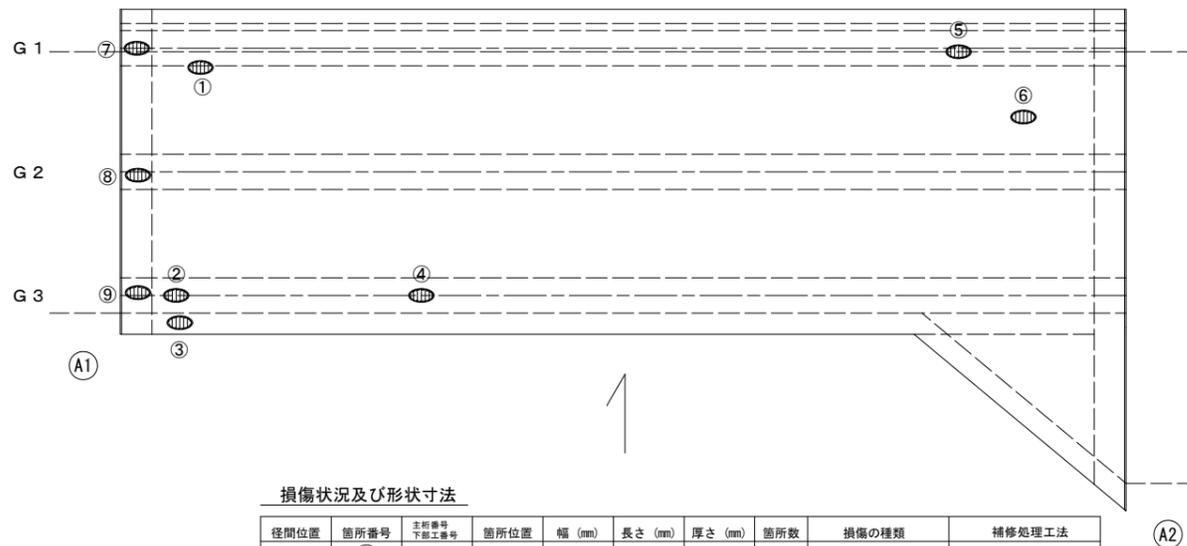
型式	単純RC桁橋
橋長	14.250m
桁長	14.210m
支間長	13.610m
総幅員	4.600m~7.100m
有効幅員	3.700m~6.200m
舗装	アスファルト舗装
斜角	90° 00' 00"

立岩橋
※この図面はA1サイズを原寸とする

工事名	令和元年度北橋補修第2号 立岩橋ほか橋橋長寿命化 修繕(上部工)工事		
施工箇所名	津市 美里町南長野ほか2町 地内		
図面の種類	橋梁補修一般図		
縮尺	図示	図面番号	1/13
事業所名	津市建設部津北工事務所		

断面修復工詳細図

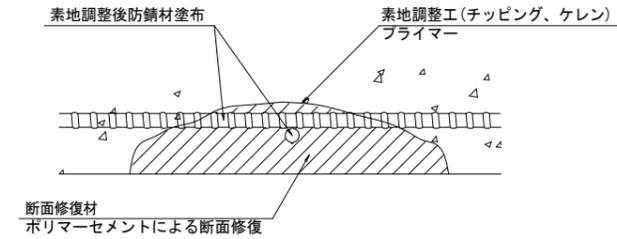
桁下面
S=1:50



損傷状況及び形状寸法

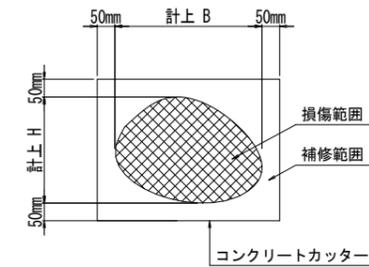
径間位置	箇所番号	主桁番号 下部工番号	箇所位置	幅 (mm)	長さ (mm)	厚さ (mm)	箇所数	損傷の種類	補修処理工法
A1-A2	①	G 1 主桁	桁側面	1000	100	30.0	1	剥離	断面修復工
	②	G 3 主桁	桁下面	400	500	40.0	1	剥離・欠損・鉄筋露出	断面修復工
	③	G 3 主桁	桁側面	500	200	50.0	1	剥離・欠損・鉄筋露出	断面修復工
	④	G 3 主桁	桁下面	400	2000	40.0	1	剥離・欠損・鉄筋露出	断面修復工
	⑤	G 1 主桁	桁下面	400	3000	40.0	1	剥離・欠損・鉄筋露出	断面修復工
	⑥	G 1-G 2 主桁間	桁間	300	400	20.0	1	剥離・欠損・鉄筋露出	断面修復工
	⑦	A 1, G 1 支承	支承	600	650	20.0	1	腐食	支承取替工
	⑧	A 1, G 2 支承	支承	600	650	20.0	1	腐食	支承取替工
	⑨	A 1, G 3 支承	支承	600	650	20.0	1	腐食	支承取替工

断面修復工 S=Free



工種	規格	数量	1.0m3当り使用量
素地調整工	チッピング、ケレン、清掃	3.500 m2	
プライマー		3.500 m2	
断面修復材	ポリマーセメントモルタル	0.160 m2	1.18m3 (ロス 1.18)

断面修復範囲図



* B, Hは上下部補修図を参照

凡例	
→→	ひび割れ
○	遊離石灰・さび汁
○	浮き・剥離・剥落・欠損
○	漏水
	鉄筋露出
●	豆板・空洞
○	その他
○	舗装ひび割れ

(注記)

- 断面修復の範囲は、施工前に劣化状況を確認の上決定する事。
- 新たな劣化部が確認された場合は、監督員と協議を行う事。
- 脆弱部は全て撤去する事。
- はつり等に際して、既設鉄筋を損傷しないよう入念に作業を行う事。

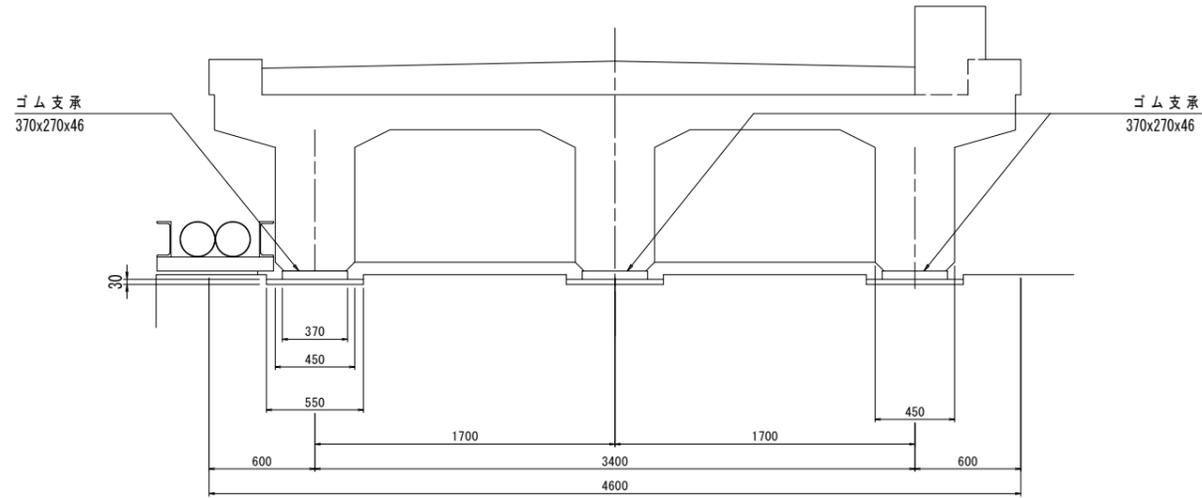
立岩橋

※この図面はA1サイズを原寸とする

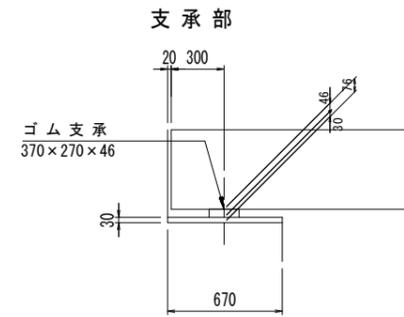
工事名	令和元年度北橋補修第2号 立岩橋ほか橋梁延長寿命化 修繕(上部工)工事
施工箇所名	津市 美里町南長野ほか2町 地内
図面の種類	断面修復工詳細図
縮尺	図示 図面番号 2/13
事業所名	津市建設部津北工事事務所

支承詳細図 (A1側)

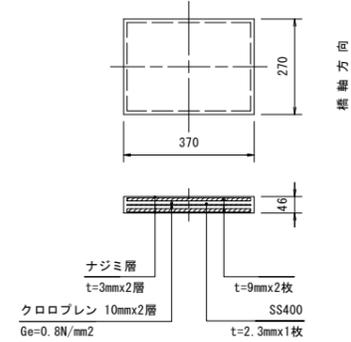
断面図 s = 1:20



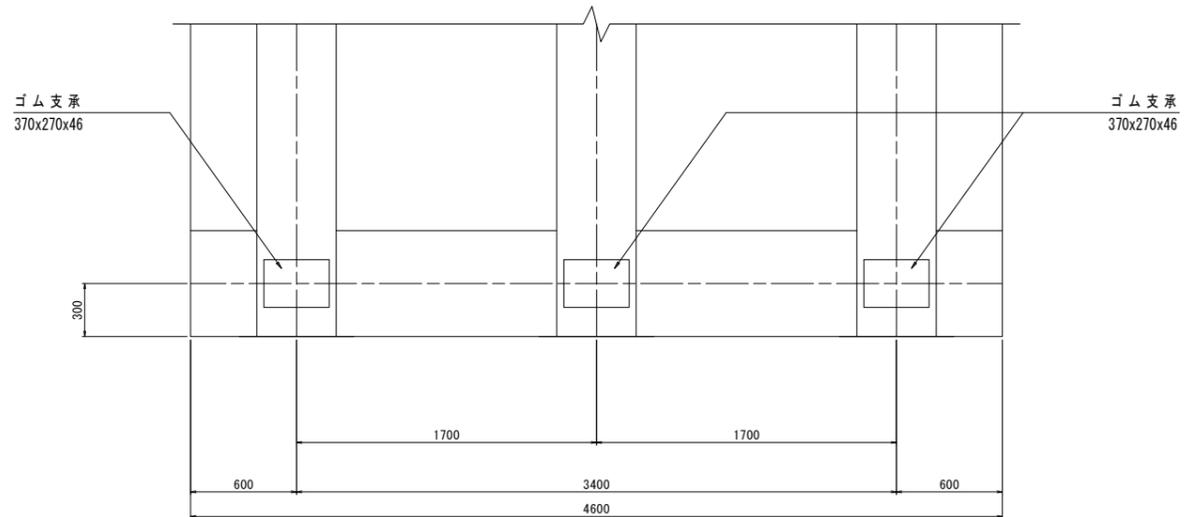
側面図 s = 1:20



ゴム支承 s = 1:10



平面図 s = 1:20

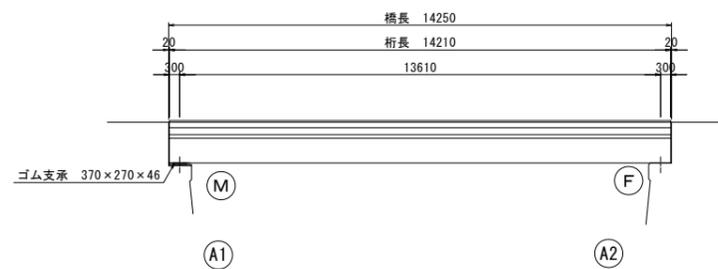


材料表

名称	寸法	材質	単位	数量	備考
ゴム支承	370x270x46	図示	枚	3	CR Ge=0.8
沓座モルタル	670x30x550	無収縮モルタル	m ³	0.033	

※1. 沓座モルタルは、別紙支承取替え順序図参照。

配置図 s = 1:100



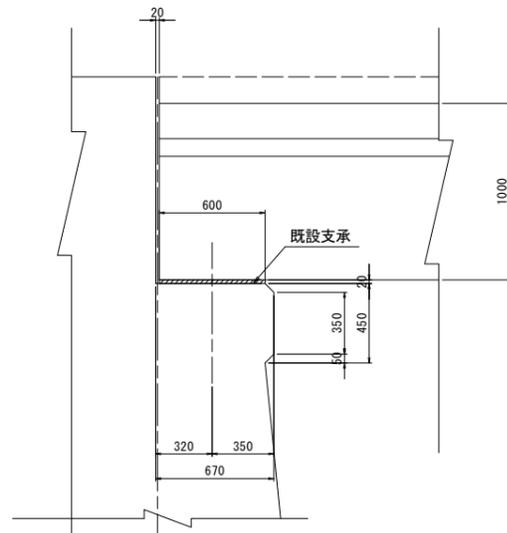
立岩橋
※この図面はA1サイズを原寸とする

工事名	令和元年度北橋補修第2号 立岩橋ほか橋梁延長寿命化 修繕(上部工)工事		
施工箇所名	津市 美里町南長野ほか2町 地内		
図面の種類	支承詳細図		
縮尺	図示	図面番号	3/13
事業所名	津市建設部津北工務事務所		

支承取替順序図 (参考図)

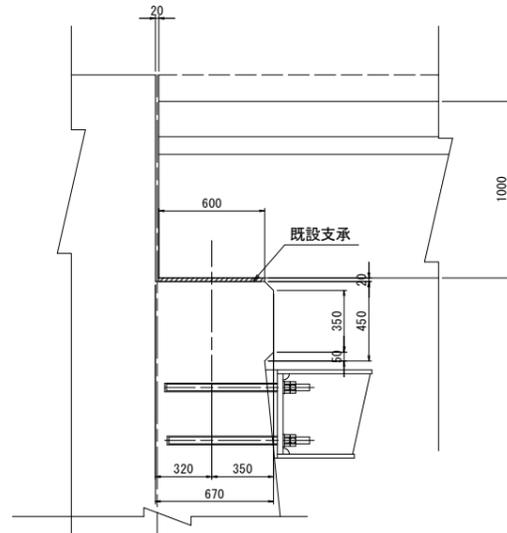
S=1:20

(1) 既設状況確認・計測



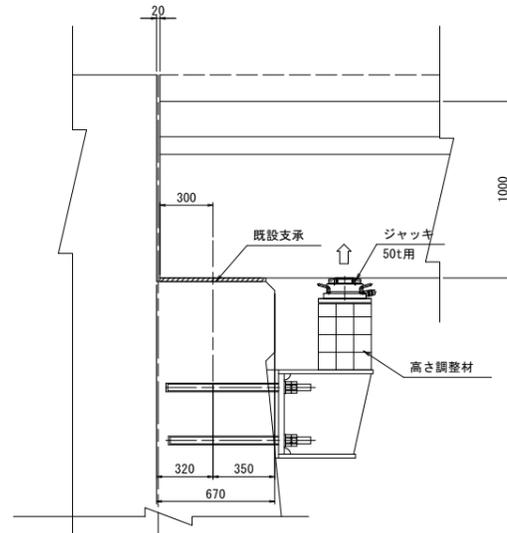
・既設沓の位置、桁下空間等の現地状況の計測を行う。

(2) 桁ジャッキアップ用架台設置



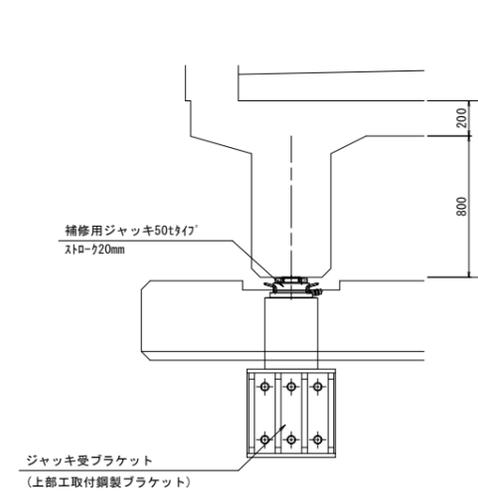
・ブラケット設置前にブラケット取り付け部の下部工鉄筋探査柱断面補修をする。
・既設鉄筋を切断しないようにコアボーリングをして、アンカーを設置する。
・桁ジャッキアップ用ブラケットを柱側面に設置する。

(3) ジャッキアップ

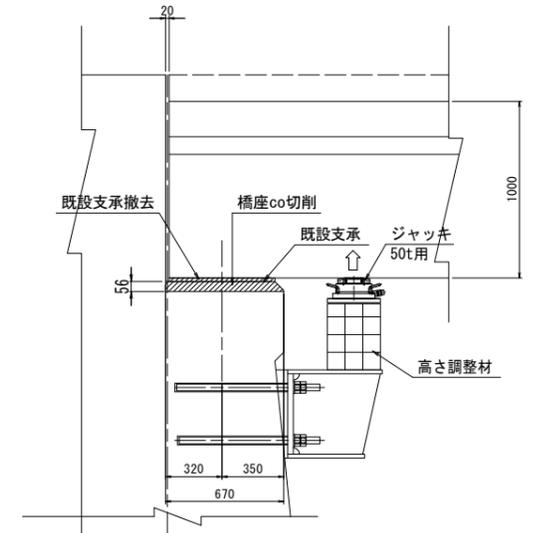


・ジャッキは、桁反力(42t)以上を持ち上げられるものとする。
・ジャッキでのこ上は、最大3mmを標準とする。

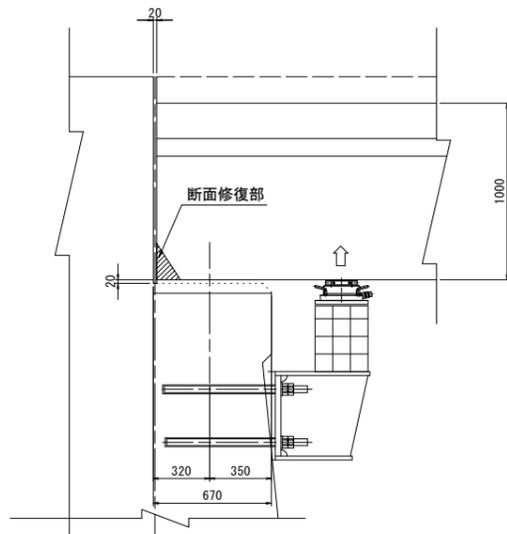
(4) 既設支承撤去



・橋座天端を56mm切削する。
・既設沓の撤去を行う。

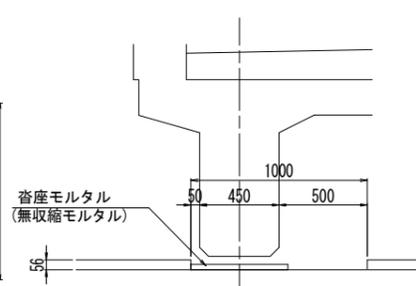


(5) 桁端断面修復



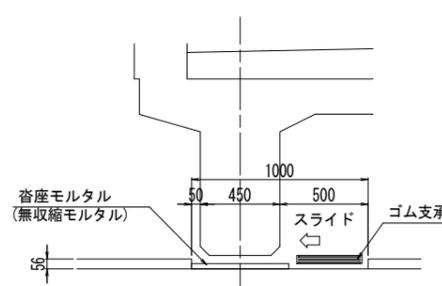
・既設沓撤去時に損傷した主桁断面の修復を行う。

(6) 沓座モルタル打設



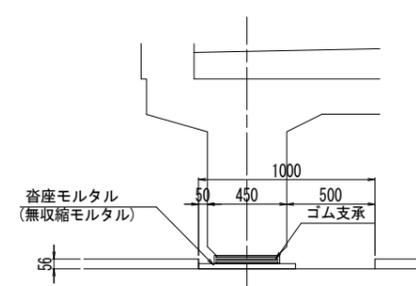
・切削面の不陸調整のために沓座モルタル(無収縮モルタル)を打設する。

(7) 支承の設置



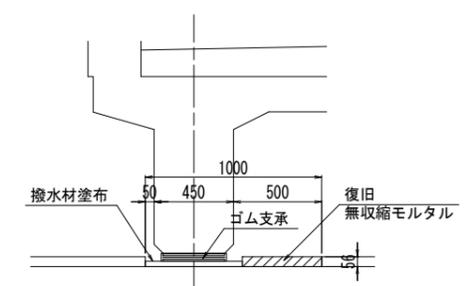
・沓座モルタルの硬化を確認後、ゴム支承を所定の位置にスライドさせてセットする。

(8) ジャッキの開放



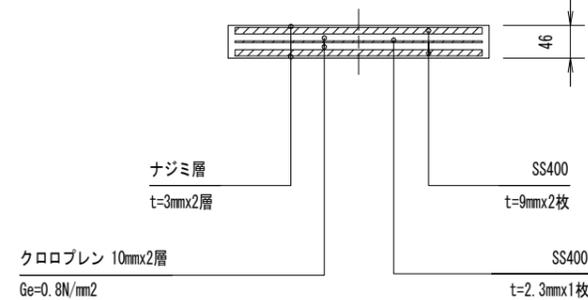
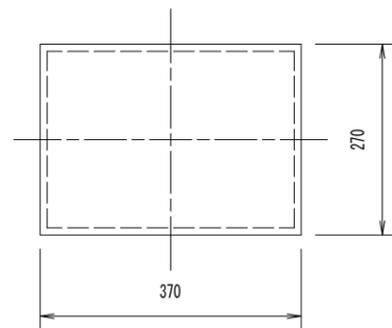
・ジャッキの開放を行い、ジャッキの資材撤去を行う。

(9) 橋座面の復旧

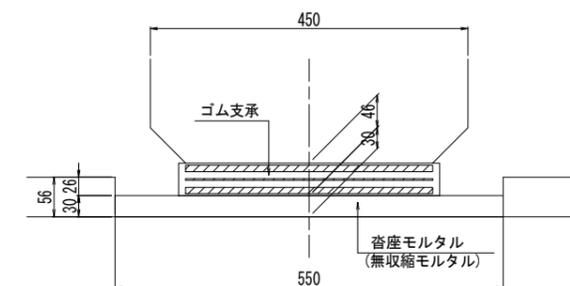


・沓座モルタル天端を撥水剤等の防水処理を行い、支承取替えを完了する。

ゴム支承 S=1:5



正面図 S=1:5

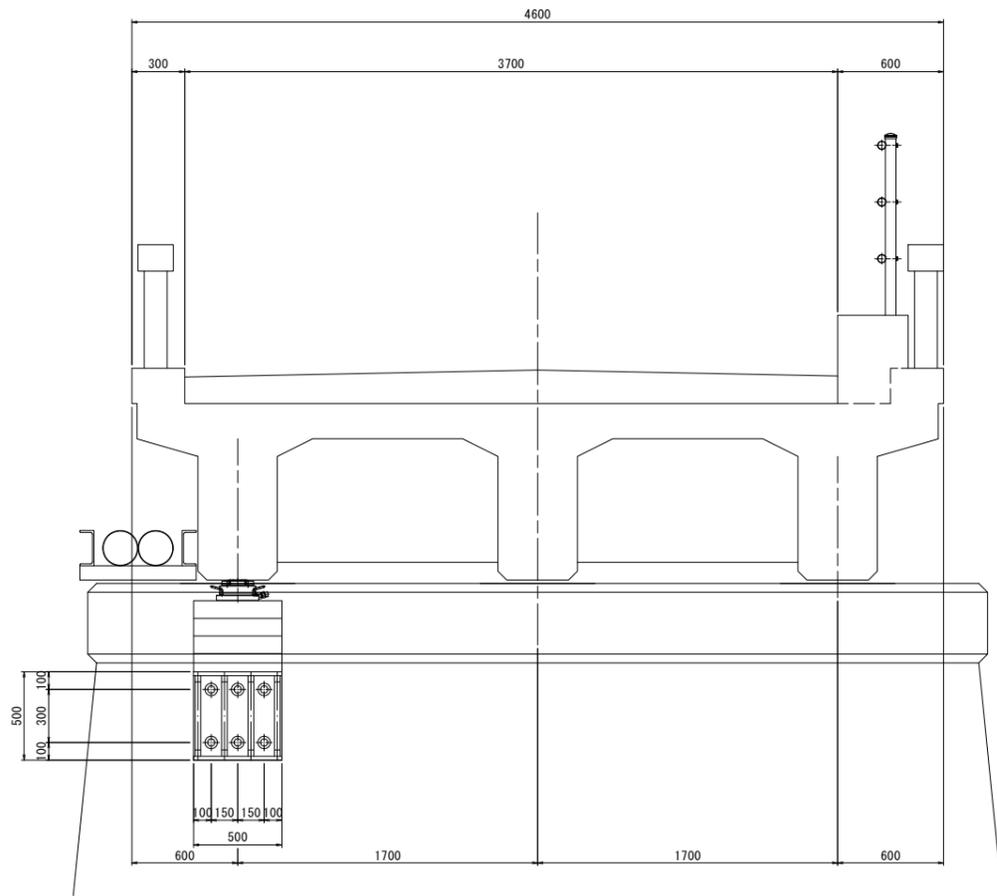


立岩橋
※この図面はA1サイズを原寸とする

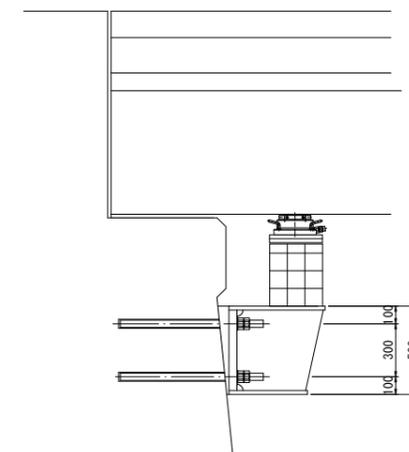
工事名	令和元年度北橋補修第2号 立岩橋ほか橋橋長寿命化 修繕(上部工)工事
施工箇所名	津市 美里町南長野ほか2町 地内
図面の種類	支承取替順序図(参考図)
縮尺	図示 図面番号 4/13
事業所名	津市建設部津北工事事務所

桁ジャッキアップ用ブラケット詳細図（その1）（参考図）

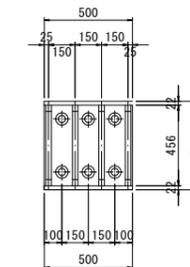
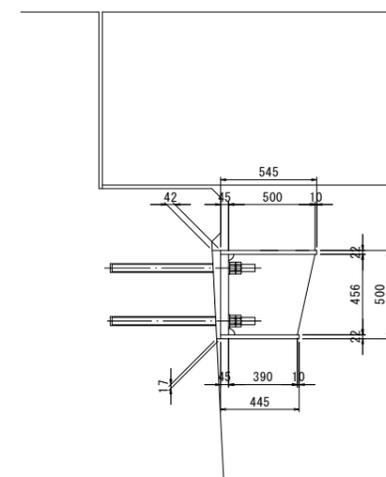
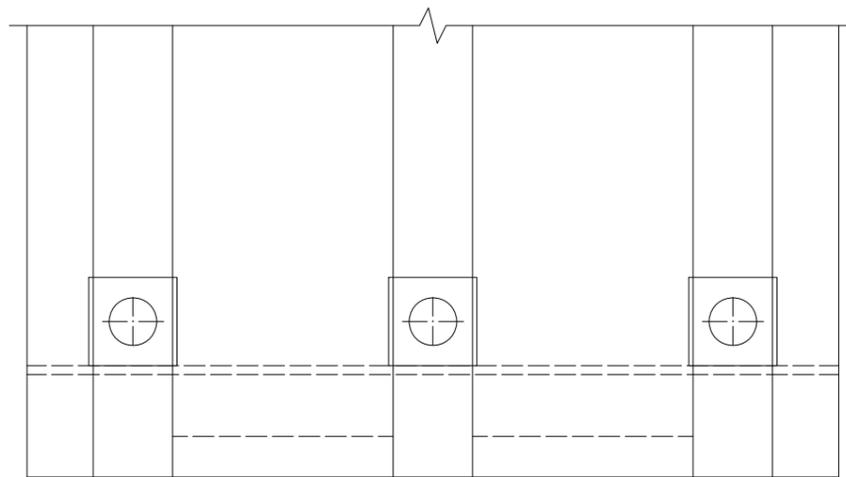
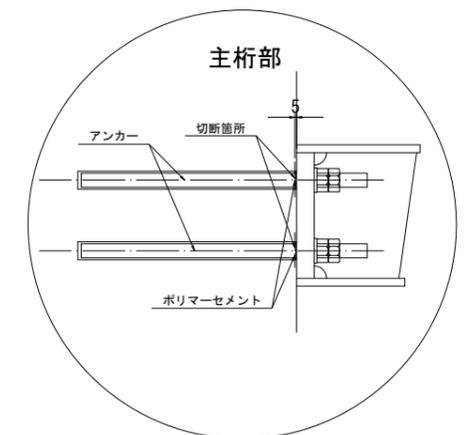
断面図 S=1/20



側面図 S=1/20



切断部詳細図



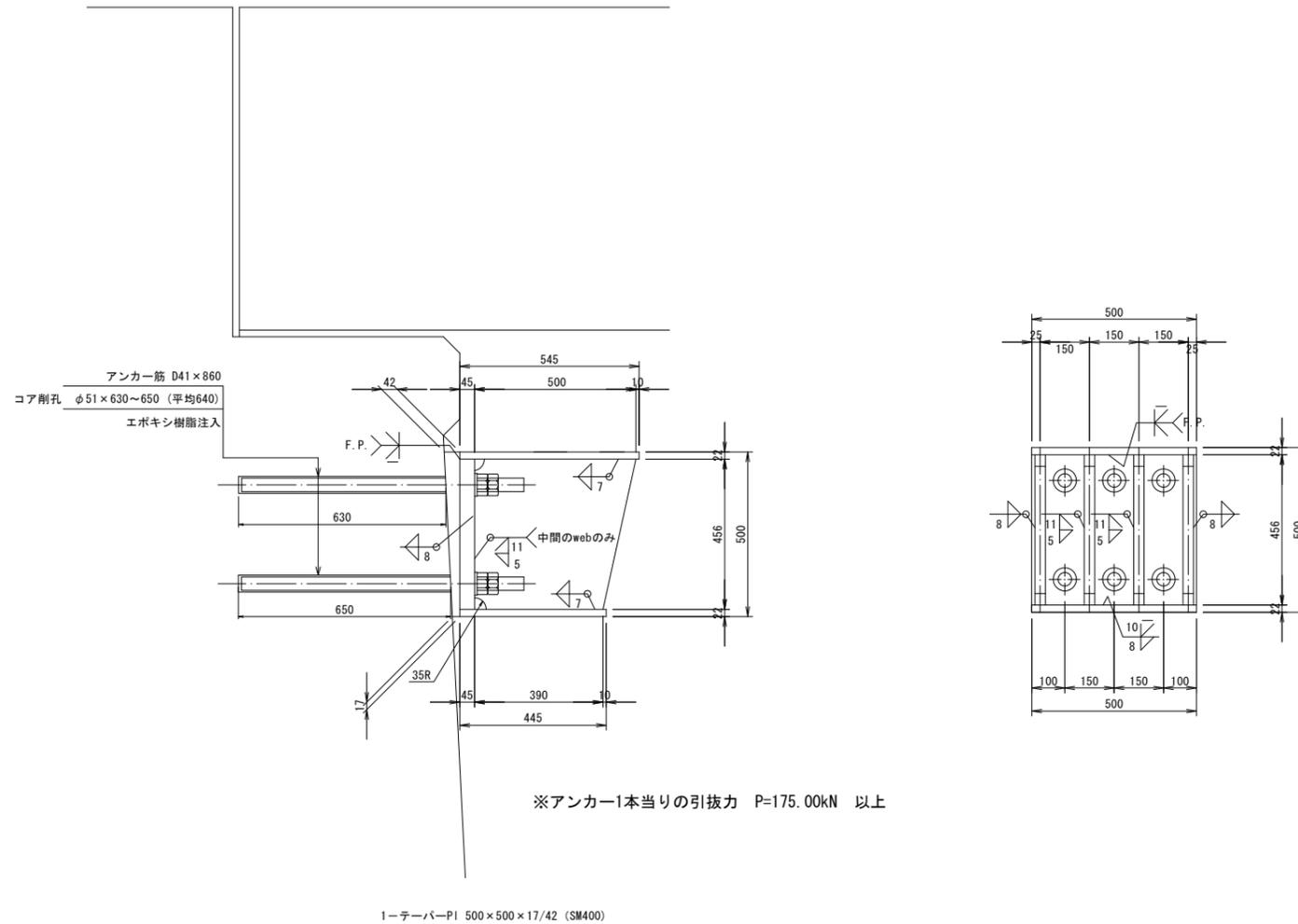
注：アンカー筋削孔前に、既設構造物の鉄筋探査を行い、監督員と協議の上行うこと。
 注：アンカーは、支承取替え完了時に、切断撤去する。完了時に躯体より5mm程度の位置で切断撤去した上、サビ止めを行い、ポリマーセメントで保護する。
 注：フランジプレートとベースの接合面は、F Pとする。

立岩橋
 ※この図面はA1サイズを原寸とする

工事名	令和元年度北橋補修第2号 立岩橋ほか橋構架長寿命化 修繕(上部工)工事		
施工箇所名	津市 美里町南長野ほか2町 地内		
図面の種類	ブラケット詳細図(1)(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	5/13
事業所名	津市建設部津北工事事務所		

桁ジャッキアップ用ブラケット詳細図 (その2) (参考図)

詳細図 S=1/10



鋼材料表

鋼製ブラケット	SM400A	(1-Base pl 500×500×45) w1=0.50×0.50×0.045×7850=88.313 (4-Rid pl 456×500×32) w2=0.456×0.50×0.032×7850×4=229.094 (1-Fig pl 500×545×22) w3=0.50×0.545×0.022×7850=47.061 (1-Fig pl 445×500×22) w4=0.445×0.50×0.022×7850=38.426 Σw=(88.313+229.094+47.061+38.426)×3=1208.682	1208.68kg
テーパプレート	SM400A	(500×500×17/42) w=0.50×0.50/2×(0.017+0.042)×7850×3=173.681.71	173.68kg
アンカーボルト	SD345	(D41 L=860) w=0.860×10.50×6×3=162.540	162.54kg
ナット	M39	N=6×3=18.0	18個
ワッシャー	M39	N=6×3=18.0	18枚

※1箇所当たりの反力 P=420.00kN

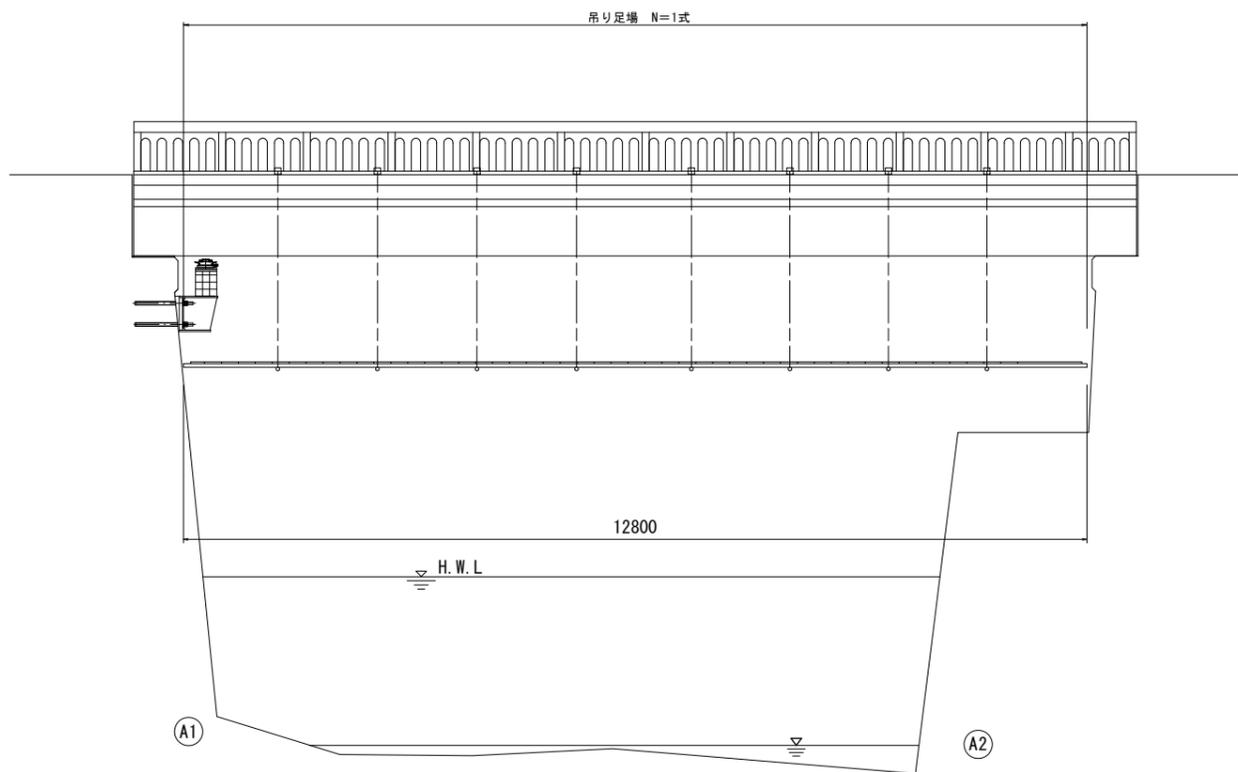
- 1-Base pl 500×500×45 (SM400)
- 4-Rid pl 456×500×32 (SM400)
- 1-Fig pl 500×545×22 (SM400)
- 1-Fig pl 445×500×22 (SM400)

立岩橋
※この図面はA1サイズを原寸とする

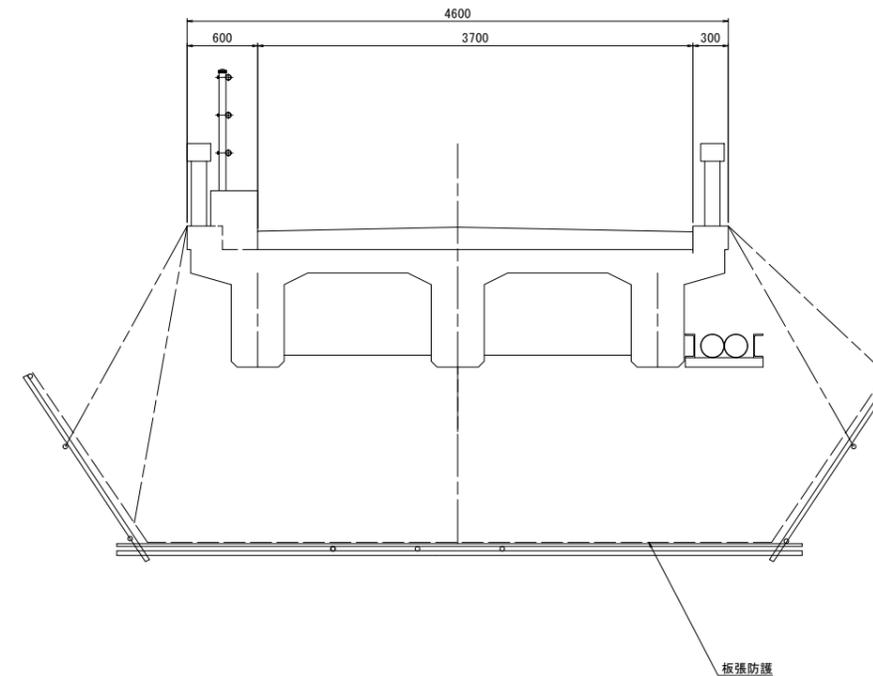
工事名	令和元年度北橋補修第2号 立岩橋ほか橋梁延長寿命化 修繕(上部工)工事		
施工箇所名	津市 美里町南長野ほか2町 地内		
図面の種類	ブラケット詳細図(2)(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	6/13
事業所名	津市建設部津北工務事務所		

立岩橋 仮設足場参考図

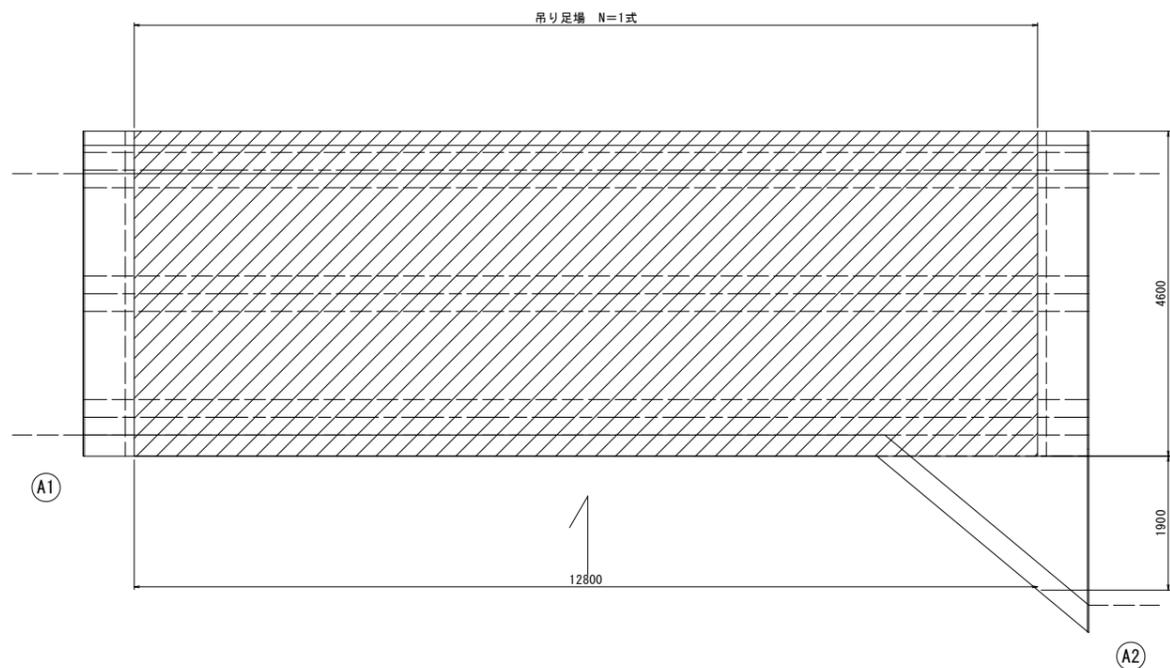
側面図
S=1:50



断面図
S=1:30



平面図
S=1:50



立岩橋
※この図面はA1サイズを原寸とする

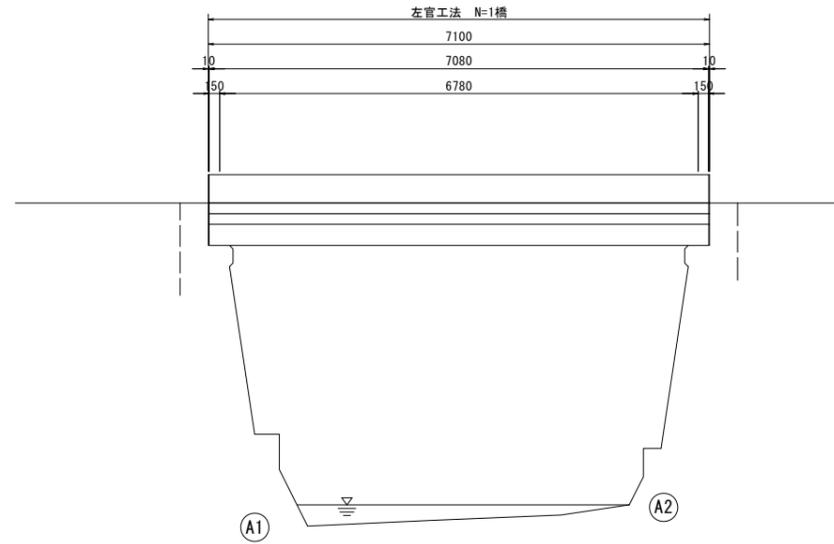
工事名	令和元年度北橋補修第2号 立岩橋ほか橋橋架長寿命化 修繕(上部工)工事		
施工箇所名	津市 美里町南長野ほか2町 地内		
図面の種類	仮設足場参考図		
縮尺	図示	図面番号	7/13
事業所名	津市建設部津北工務事務所		

※ 足場については、H.W.Lより上空へ設置すること。

湊之坂橋 橋梁補修一般図

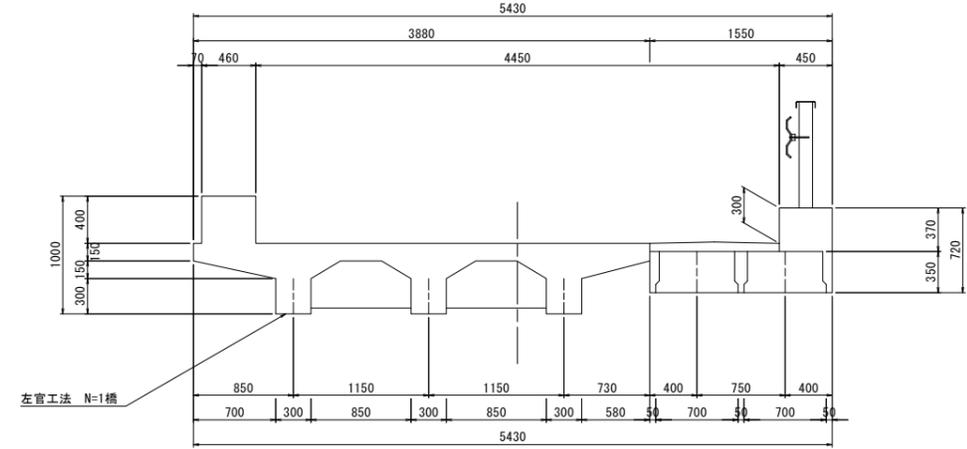
側面図

S=1:50



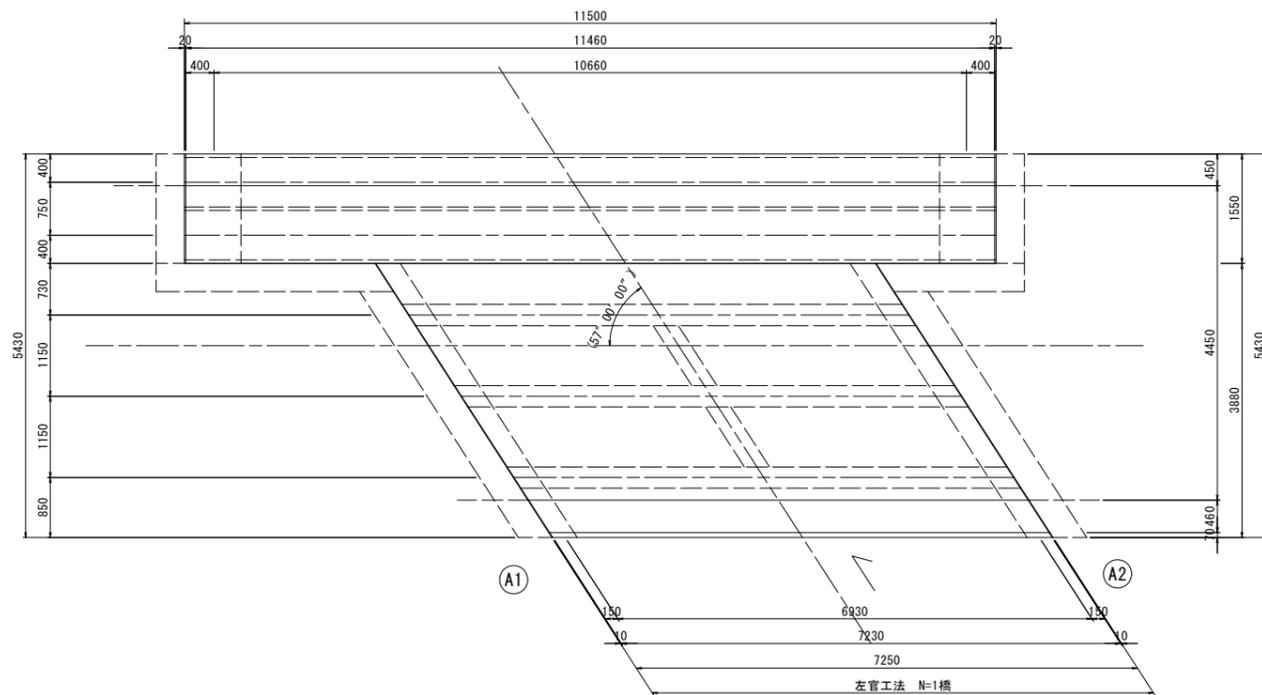
断面図

S=1:30



平面図

S=1:50



設計条件

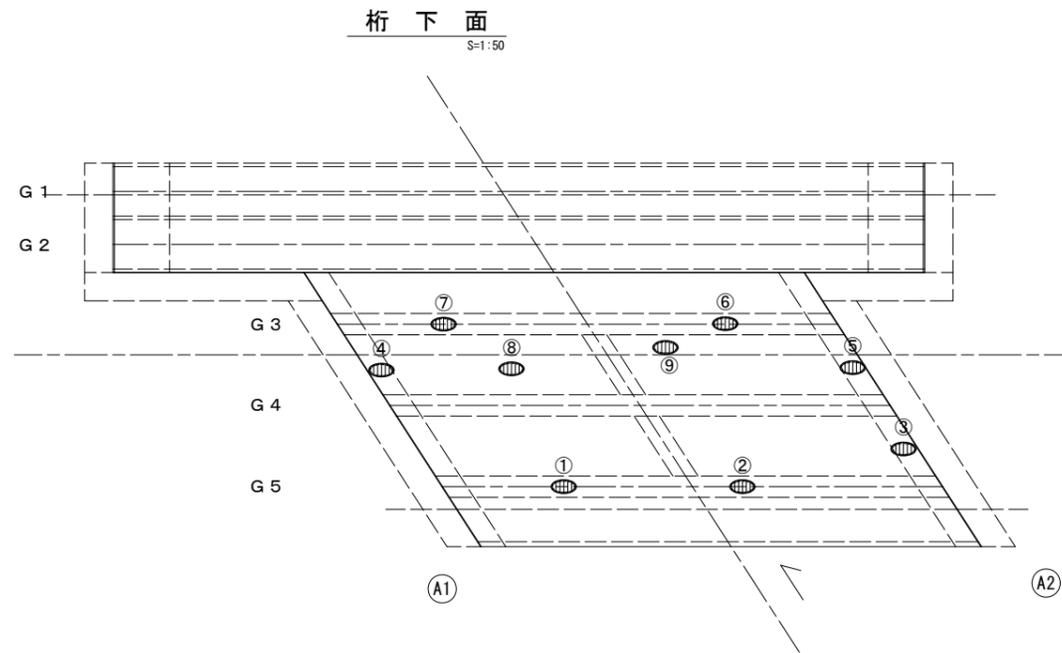
設計条件	
型式	単純RGT桁橋+単純PCスラブ桁橋
橋長	7.100m, 11.500m
桁長	7.080m, 11.460m
支間長	6.780m, 10.660m
総幅員	5.430m
有効幅員	4.450m
舗装	コンクリート舗装(床版)+アスファルト舗装
斜角	左 57° 00' 00"

湊之坂橋

※この図面はA1サイズを原寸とする

工事名	令和元年度北橋補修第2号 立岩橋ほか橋橋長寿命化 修繕(上部工)工事		
施工箇所名	津市 美里町南長野ほか2町 地内		
図面の種類	橋梁補修一般図		
縮尺	図示	図面番号	8/13
事業所名	津市建設部津北工務事務所		

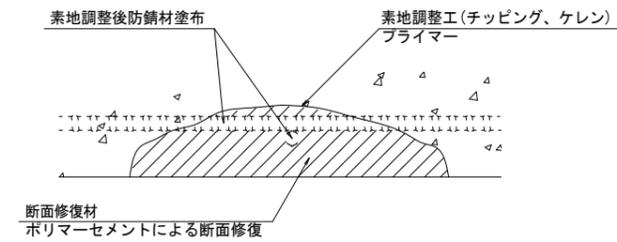
断面修復工詳細図



損傷状況及び形状寸法

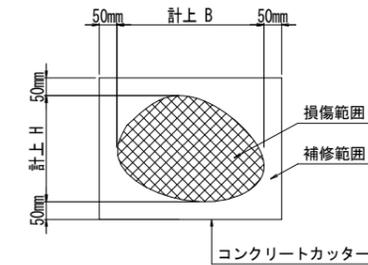
径間位置	箇所番号	主桁番号 下部工番号	箇所位置	幅 (mm)	長さ (mm)	厚さ (mm)	箇所数	損傷の種類	補修処理工法
A1-A2	①	G 5 主桁	桁下面	300	1500	40.0	1	剥離・欠損・鉄筋露出	断面修復工
	②	G 5 主桁	桁下面	300	1500	40.0	1	剥離・欠損・鉄筋露出	断面修復工
	③	G 4・G 5 間橋桁	桁側面	250	300	20.0	1	剥離・欠損・鉄筋露出	断面修復工
	④	G 4・G 5 間橋桁	桁側面	200	500	20.0	1	剥離・欠損・鉄筋露出	断面修復工
	⑤	G 3・G 4 間橋桁	桁側面	300	500	20.0	1	剥離・欠損・鉄筋露出	断面修復工
	⑥	G 3 主桁	桁下面	200	300	30.0	1	剥離・欠損・鉄筋露出	断面修復工
	⑦	G 3 主桁	桁下面	300	400	20.0	1	剥離・欠損・鉄筋露出	断面修復工
	⑧	G 3・G 4 主桁間	桁間	200	300	20.0	1	剥離・欠損・鉄筋露出	断面修復工
	⑨	G 3 主桁	桁側面	300	600	20.0	1	剥離・欠損・鉄筋露出	断面修復工

断面修復工 S=Free



工種	規格	数量	1.0m3当り使用量
素地調整工	チッピング、ケレン、清掃	2.560 m2	
プライマー		2.560 m2	
断面修復材	ポリマーセメントモルタル	0.092 m2	1.18m3 (ロス 1.18)

断面修復範囲図



* B, Hは上下部補修図を参照

凡例	
→→	ひび割れ
○	遊離石灰・さび汁
○	浮き・剥離・剥落・欠損
○	漏水
⊖	鉄筋露出
○	豆板・空洞
○	その他
○	舗装ひび割れ

(注記)

- 断面修復の範囲は、施工前に劣化状況を確認の上決定する事。
- 新たな劣化部が確認された場合は、監督員と協議を行う事。
- 脆弱部は全て撤去する事。
- はつり等に際して、既設鉄筋を損傷しないよう入念に作業を行う事。

測之坂橋

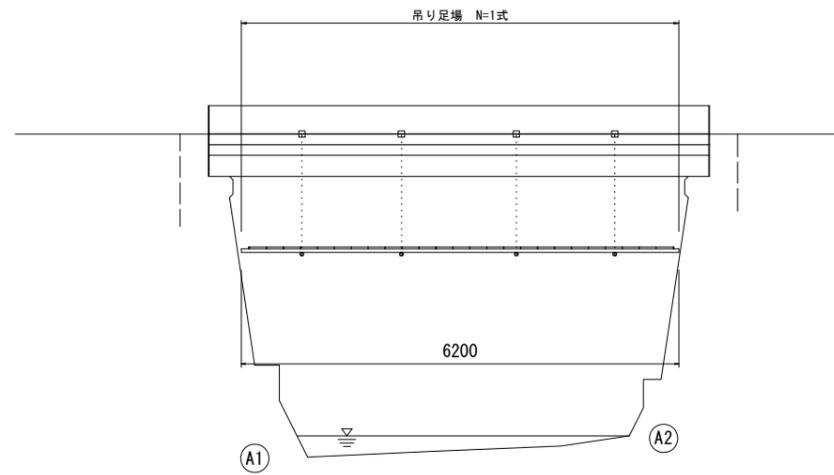
※この図面はA1サイズを原寸とする

工事名	令和元年度北橋補修第2号 立岩橋ほか橋橋架長寿命化 修繕(上部工)工事
施工箇所名	津市 美里町南長野ほか2町 地内
図面の種類	断面修復工詳細図
縮尺	図示 図面番号 9/13
事業所名	津市建設部津北工事事務所

湊之坂橋 仮設足場参考図

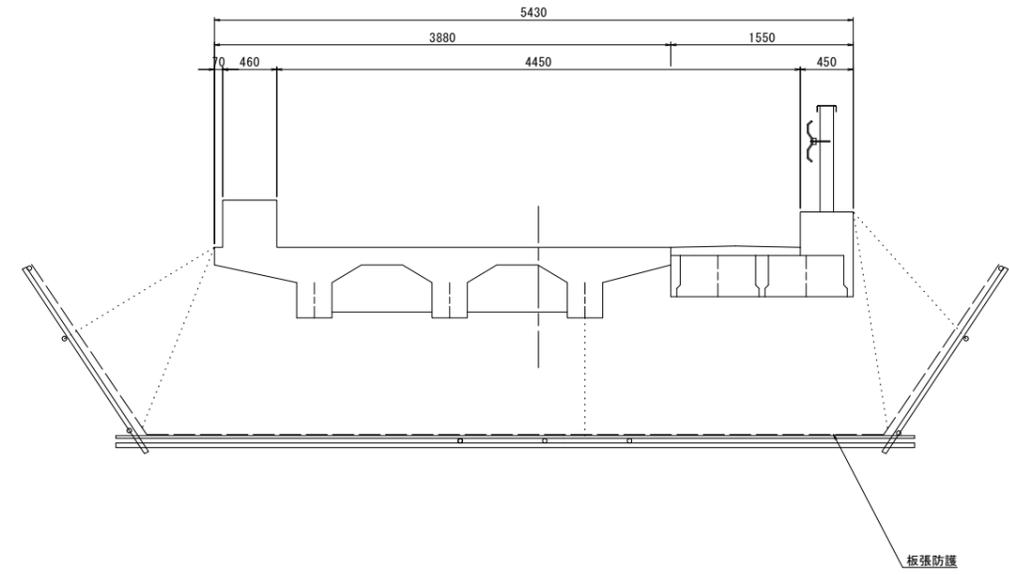
側面図

S=1:50



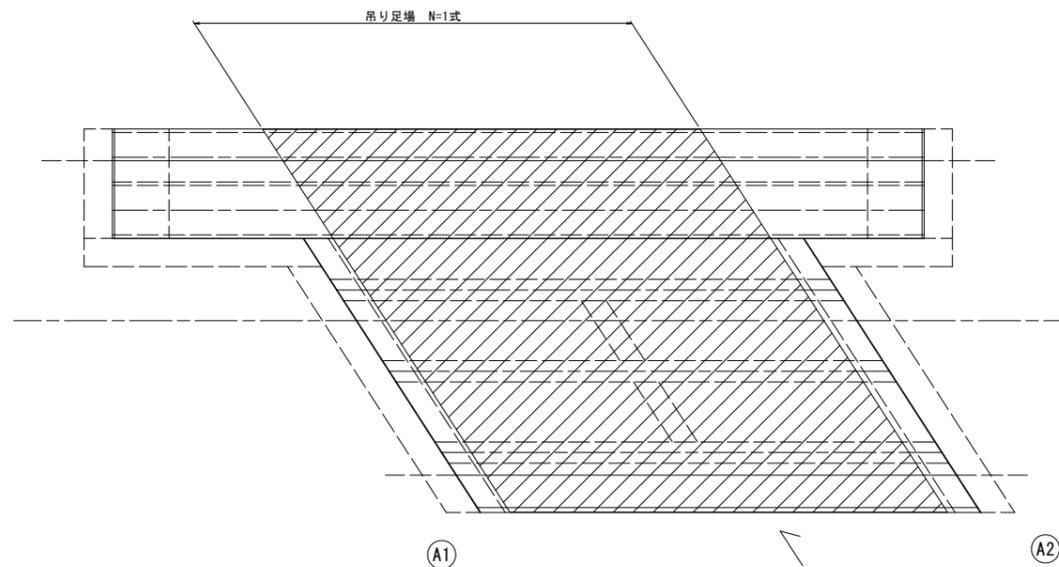
断面図

S=1:30



平面図

S=1:50



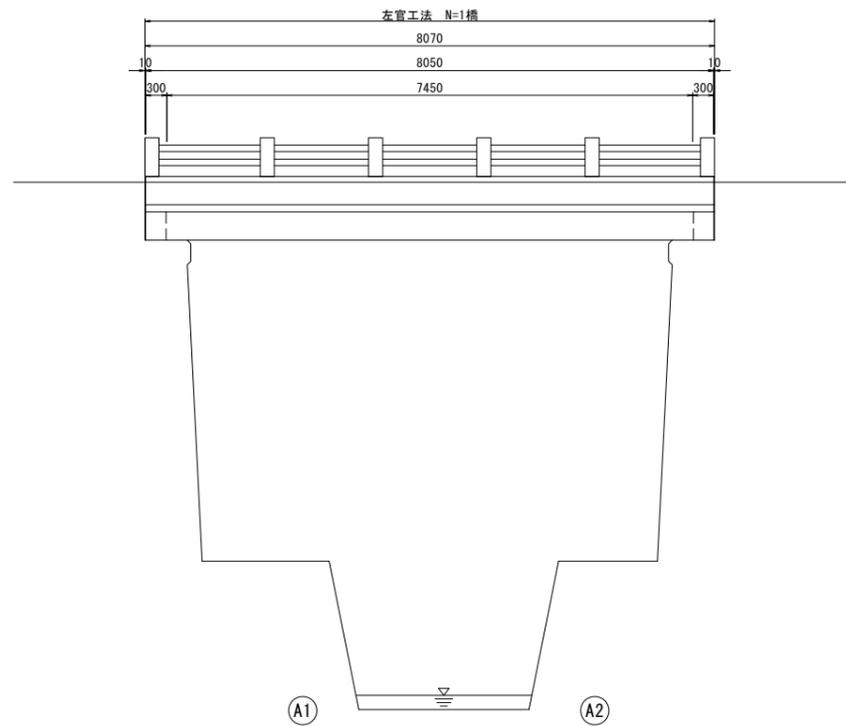
湊之坂橋
※この図面はA1サイズを原寸とする

工事名	令和元年度北橋補修第2号 立廻橋ほか橋梁延長寿命化 修繕(上部工)工事		
施工箇所名	津市 美里町南長野ほか2町 地内		
図面の種類	仮設足場参考図		
縮尺	図示	図面番号	10/13
事業所名	津市建設部津北工務事務所		

生水川13号橋 橋梁補修一般図

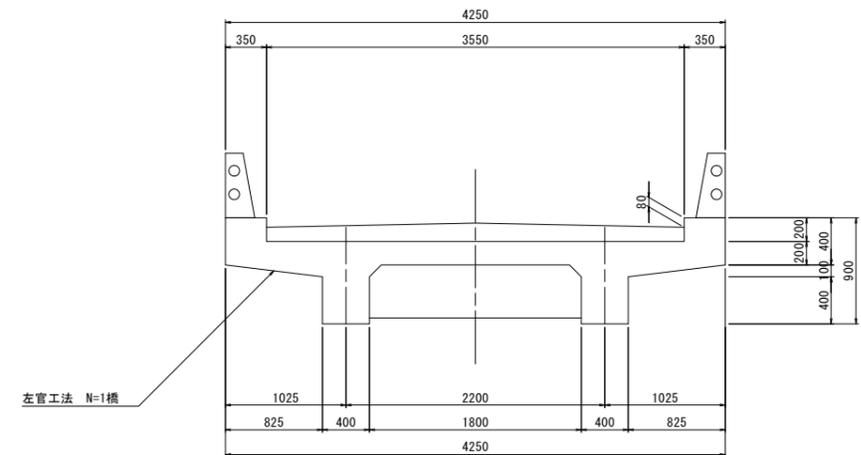
側面図

S=1:50



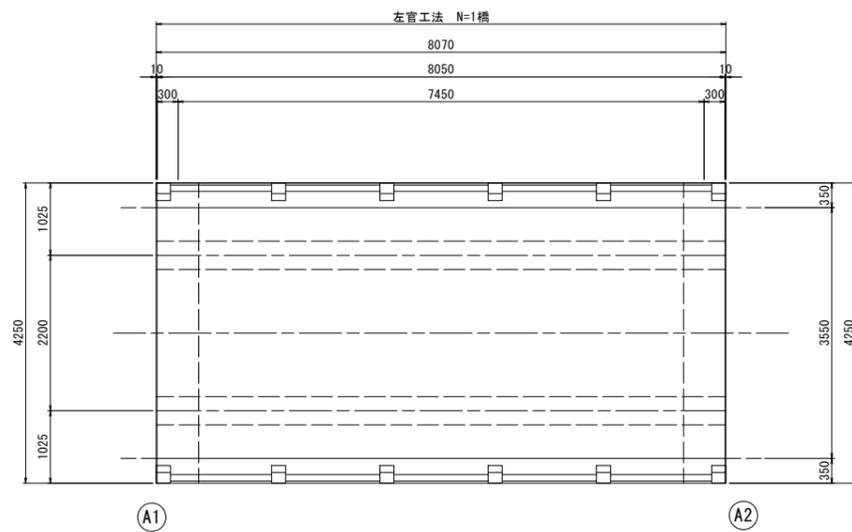
断面図

S=1:30



平面図

S=1:50



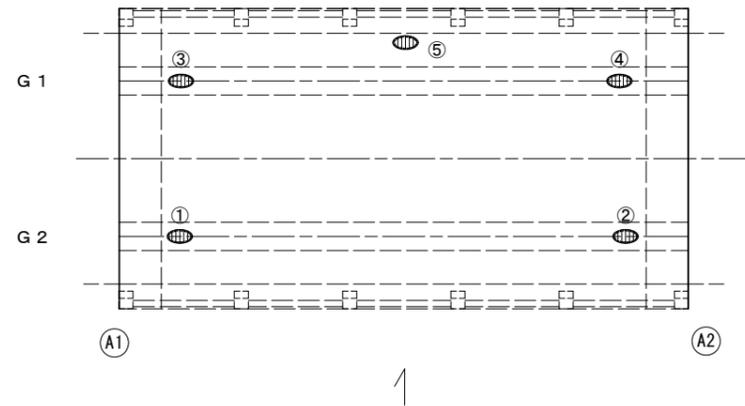
設計条件	
型式	単純RC桁橋
橋長	8.070m
桁長	8.050m
支間長	7.450m
総幅員	4.250m
有効幅員	3.550m
舗装	アスファルト舗装
斜角	90° 00' 00"

生水川13号橋
※この図面はA1サイズを原寸とする

工事名	令和元年度北橋補修第2号 立岩橋ほか橋梁延長寿命化 修繕(上部工)工事		
施工箇所名	津市 美里町南長野ほか2町 地内		
図面の種類	橋梁補修一般図		
縮尺	図示	図面番号	11/13
事業所名	津市建設部津北工務事務所		

断面修復工詳細図

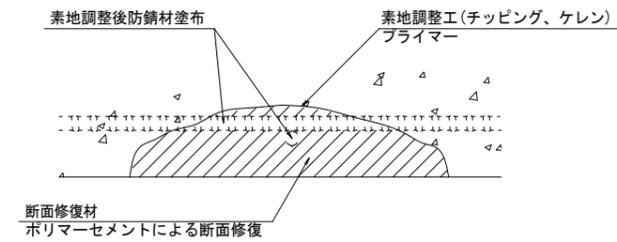
桁下面
S=1:50



損傷状況及び形状寸法

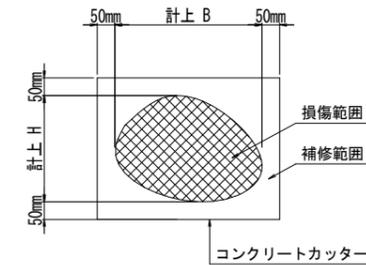
径間位置	箇所番号	主桁番号 下部工番号	箇所位置	幅 (mm)	長さ (mm)	厚さ (mm)	箇所数	損傷の種類	補修処理工法
A1-A2	①	G 2 主桁	桁下面	400	600	30.0	1	剥離・欠損・鉄筋露出	断面修復工
	②	G 2 主桁	桁下面	400	600	40.0	1	剥離・欠損・鉄筋露出	断面修復工
	③	G 1 主桁	桁下面	400	600	40.0	1	剥離・欠損・鉄筋露出	断面修復工
	④	G 1 主桁	桁下面	400	600	30.0	1	剥離・欠損・鉄筋露出	断面修復工
	⑤	床版	床版下面	300	400	20.0	1	剥離・欠損・鉄筋露出	断面修復工

断面修復工 S=Free



工種	規格	数量	1.0m3当り使用量
素地調整工	チッピング、ケレン、清掃	1.600 m2	
プライマー		1.600 m2	
断面修復材	ポリマーセメントモルタル	0.063 m2	1.18m3(ロス 1.18)

断面修復範囲図



* B, Hは上下部補修図を参照

凡例	
→	ひび割れ
○	遊離石灰・さび汁
○	浮き・剥離・剥落・欠損
○	漏水
○	鉄筋露出
○	豆板・空洞
○	その他
○	舗装ひび割れ

(注記)

- 断面修復の範囲は、施工前に劣化状況を確認の上決定する事。
- 新たな劣化部が確認された場合は、監督員と協議を行う事。
- 脆弱部は全て撤去する事。
- はつり等に際して、既設鉄筋を損傷しないよう入念に作業を行う事。

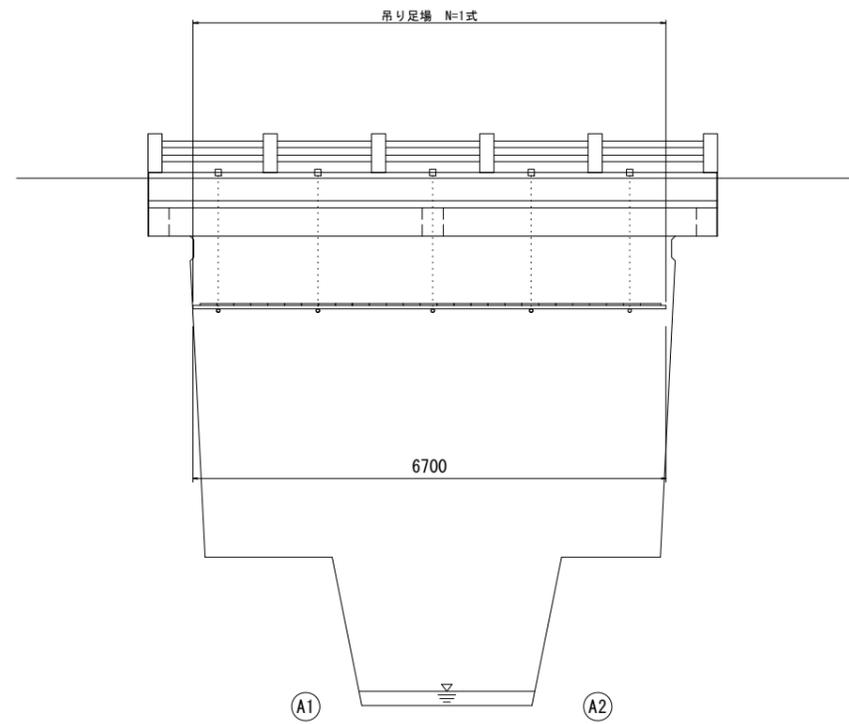
生水川13号橋
※この図面はA1サイズを原寸とする

工事名	令和元年度北橋補修第2号 立岩橋ほか橋梁延長寿命化 修繕(上部工)工事
施工箇所名	津市 美里町南長野ほか2町 地内
図面の種類	断面修復工詳細図
縮尺	図示 図面番号 12/13
事業所名	津市建設部津北工事事務所

生水川13号橋 仮設足場参考図

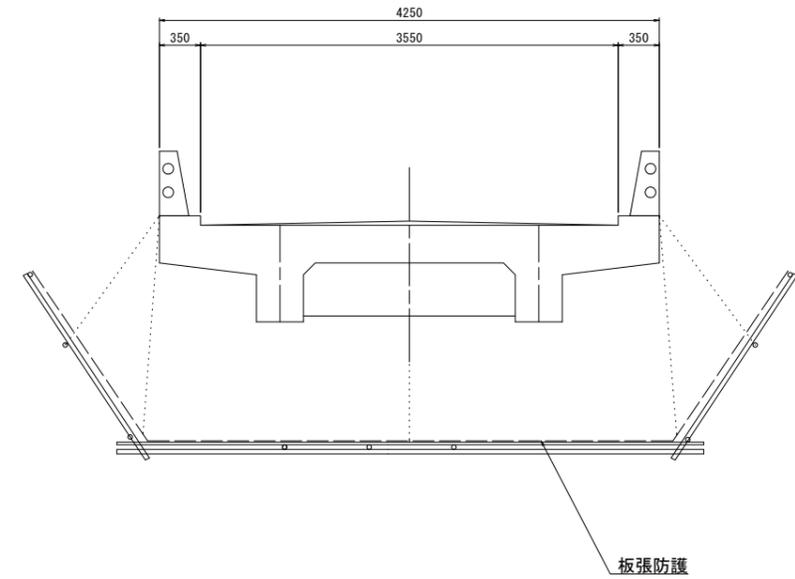
側面図

S=1:50



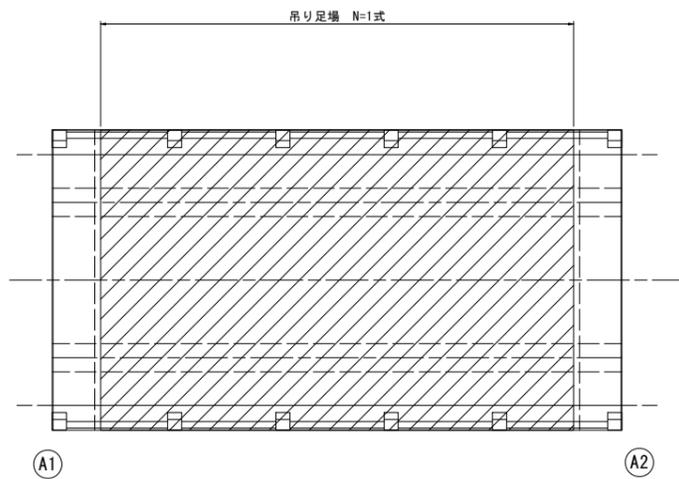
断面図

S=1:30



平面図

S=1:50



生水川13号橋
※この図面はA1サイズを原寸とする

工事名	令和元年度北橋補修第2号 立岩橋ほか橋梁延長寿命化 修繕(上部工)工事		
施工箇所名	津市 美里町南長野ほか2町 地内		
図面の種類	仮設足場参考図		
縮尺	図示	図面番号	13/13
事業所名	津市建設部津北工務事務所		